整理番号 港湾-条申-7

申請に対する処分個別票

なし

経由日数

所管局部担当名 (電話番号)	大阪港湾局 計画整備部 施設管理課(道路)(06-6572-2674) 施設管理課(緑地管理)(06-6572-4050) 海務課(海務)(06-6571-1745) 海務課(埠頭)(06-6572-4033) 事業戦略課(06-6615-7766)
—————————————————————————————————————	同上
	港湾施設の使用料等の減免
概要	港湾施設の使用もしくは占用の許可を受けた者は、大阪市港湾施設条例で定める使用料等を納付する必要がありますが、一定の要件を満たす場合においては、大阪市港湾施設条例第18条の規定により、これらの使用料等を減額又は免除することがあります。
根拠法令等 及び条項	大阪市港湾施設条例(昭和39年4月1日条例第76号)第18条第3項 (https://www1.g-reiki.net/reiki37e/reiki.html) 大阪市港湾施設条例施行規則(平成21年3月30日規則第79号)第17条 (https://www1.g-reiki.net/reiki37e/reiki.html)
審査基準	○次の各号のいずれかに該当する場合においては、使用料等を減額又は免除することがあります。 ○図、地方公共団体その他の公共団体又は公共的団体が、公用、公共用又は、公益事業の用に供するため 施設を使用し、又は占用するとき ②製書前、火火その他の公共団体と公式訪問する外国船舶が施設を使用し、又は占用するとき ③影響が発利条の2第1項ただし書に規定する船舶が施設を使用するとき ○下書稿数率41条の2第1項ただし書に規定する船舶が施設を使用するとき ・管備教育44条の2第1項ただし書に規定する船舶が施設を使用するとき ・管備教育44条の2第1項ただし書に規定する船舶が施設を使用するとき ・管備教育は気象の観測に従事する船舶 ・漁業を又は気象の観測に従事する船舶 ・漁業を双は気象の観測とは、次の船舶をいいます。 ・新編業に従事する船舶 ・老の他政合で定める船舶 ・との他政合で定める船舶 ・との他政合で定める船舶 ・海外がらの日本国民の集団的引揚輸送に従事する船舶 ・海外からの日本国民の集団的引揚輸送に従事する船舶 ・海外からの日本国民の集団的引揚輸送に従事する船舶 ・海外からの日本国民の集団的引揚輸送に従事する船舶 ・海外からの日本国民の集団的引揚輸送に従事する船舶 ・海外からの日本国民の集団的引揚輸送に従事する船舶 ・海外がらの日を関連対策上必要があると認めるとき ・「大阪港の振興対策上必要がある」とは、次の場合をいいます。 ・大阪港の振興対策上必要があると認めるとき ・大阪港の初港市のシフトするとき ・大阪港の初港市のシフトするとき ・小助航路を船が保留するとき ・内・助航路でコンフト・するとき ・内・助航路でコンフト・を取り扱うとき ・内・助航路でコンテナを取り扱うとき ・内・助航路・コンテナを取り扱うとき ・内・助航路・コンテナを取り扱うとき ・ 内・助筋・コンテナを取り扱うとき ・ 中・特に関ー者とは当まがにコンテラを取り扱うとき ・ トランシンプコンテナを取り扱うとき ・ 市・申・本の・サー・アの経・アン・サー・アの経・アン・サー・アの経・アン・サー・アの経・アン・サー・アの経・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・
標準処理期間	7日

様式1

提出先	大阪港湾局 計画整備部 施設管理課(道路、緑地管理)、海務課(海務、埠頭)、事業戦略課
提出時期	随時
提出方法	所定の申請書及び添付書類を減免を受けようとする使用料等の対象となる施設を所管する担当へ提出してください。
手数料	なし
相談窓口	大阪港湾局 計画整備部 施設管理課(道路、緑地管理)、海務課(海務、埠頭)、事業戦略課
ホームページ	https://www.city.osaka.lg.jp/port/page/0000515617.html
備考	